

# I 西風新都の都市づくり

## 1 西風新都とは

“ひろしま西風新都”  
広島圏域の発展を牽引する  
先導的な「まち」として



A.CITYヒルス&タワーズ付近



## 2 都市づくりの状況

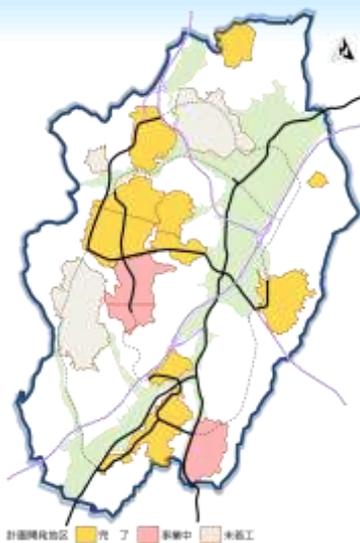
### (1) 経緯

年	出来事
昭和46年～	開発事業者による用地買収が進行
昭和50年	関連公共施設の未整備を理由に開発凍結
昭和55年	広島市が政令指定都市に昇格
平成元年	「広島西部丘陵都市建設実施計画」を策定
平成20年	「ひろしま西風新都都市づくり推進プラン」を策定
平成25年	「活力創造都市“ひろしま西風新都”推進計画2013」を策定

## 2 都市づくりの状況

### (2) 都市づくりの進展状況

【平成25年5月末現在の状況】



**開発状況** ※面積ベース  
計画開発地区の整備率 **60%**

**インフラ** ※延長ベース  
幹線道路の整備率 **42%**



### 3 「活力創造都市“ひろしま西風新都”

### 推進計画2013」の概要

#### 【全体計画見直しの方向性】

- 時代の変化に即応した都市づくりの進め方を取り入れる。
- 産業集積と快適居住の場：西風新都に新風を吹き込む。

#### ★ 西風新都の都市機能



#### 先導

広島都市圏さらには中四国地方を牽引する“先導的なまち”

#### 誘引

多種多様な人々を広域から“誘引”する魅力的なまち”

#### 推進

ヒト・モノ・カネが循環することで、エンジンのように“推進”力を生み出すまち”

### 3 「活力創造都市“ひろしま西風新都” 推進計画2013」の概要

#### (1) 都市づくりのスケジュール

時 期		区 分		人口フレーム
2030年 (平成42年)	都市基盤の概成期	計画人口	計画期間(2030年まで)内に分譲が完了する開発を考慮した将来人口	6万7千人
21世紀 中頃	都市の成熟期	目標人口	平地部の幹線道路沿道における高度利用や丘陵部の開発等を考慮し、計画人口に加算した人口	8万人

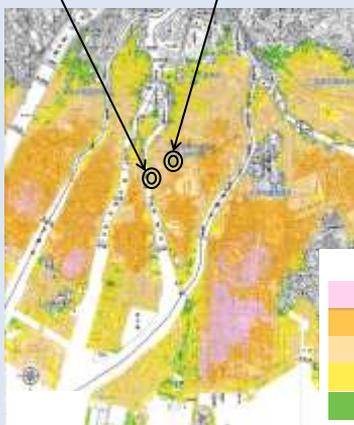




## ウ 防災機能の充実・強化

### 市域全体の防災力の向上

○現在の防災拠点  
消防局庁舎、市役所本庁舎



デルタ  
市街地が  
ほとんど  
浸水

防災拠点  
が何れも  
デルタ内  
に立地

西風新都の優位性

西風新都は高台にあり  
津波被害を受けない

・防災拠点施設の代替機能の導入

→災害対策本部など

・情報のバックアップ機能の強化

→行政情報の分散化など

### 地域防災力の向上

・消防出張所の整備

・災害時相互応援協定の締結

(出典：広島県津波浸水想定図[平成25年3月31日公表])

10

## エ スマートコミュニティの推進

### ・スマートコミュニティとは

街の中の様々な施設をICTでつなぐことで、エネルギー、交通、医療、教育など様々な社会インフラを効率的にしようとするもの



### (1) 取組の目的

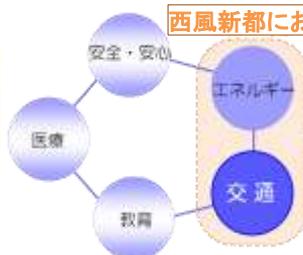
**先進性** 先進的なまちとして西風新都の価値やイメージを高め、企業誘致や雇用の創出につなげる

**利便性** スマート化により、住みやすい、働きやすい、移動しやすいまちとする

**先進性** 低炭素型のまちのモデル地区として、今後の本市における都市づくりをリードする

### (2) スマートコミュニティの対象

西風新都における当面の対象



11